

令和7年度

大野城市の教育



大野城市PRキャラクター
大野ジョー

大野城市では市全体の施策の基本である「総合計画」の中から広く教育に関わる施策をまとめた「教育施策大綱」を令和6年3月に策定しました。

「教育施策大綱」に基づき、今年度の重点目標などを掲げた「大野城市教育振興基本計画」から、主な取組を紹介します。

基本方針1 こどもたちの生きる力を育む

学校教育の充実

○外国語指導助手派遣事業(実施計画)

外国語指導助手(ALT)を配置して各小中学校を巡回指導し、生きた外国語や外国文化・生活に触れる機会を提供します。

○小学校学力向上支援員派遣事業

学力向上支援員を全小学校に配置して少人数または個別指導を実施し、児童の基礎的・基本的な学力の定着を図ります。

○心の教育フェスティバル実施

市が目指す「心の教育」に基づくテーマを決め、児童生徒の意見発表を実施します。

各小中学校の道徳科の授業を、全学級公開します。



心の教育フェスティバル



共育の推進と多様な教育機会の提供

○小学生読書リーダー養成事業

受講児童が基礎講座受講後、学校で実践活動を行うことにより、児童同士による読書意欲の高め合いを行います。また、交流会では、受講児童による読み聞かせや各学校での実践活動の発表をより多くの人に聞いてもらうことで、読書の裾野を広げるとともに、リーダー意識の向上と活動の継続を図ります。



読書リーダー読み聞かせ演習

○家庭教育学級事業

こどもの心と体の成長における課題解決、保護者の悩みや不安の解決につながるテーマを設定した家庭教育学級及び合同講演会を実施します。

家庭教育学級は、小中学校の保護者を対象に各学校で実施しており、学級運営や講話・実技実習を通して、子育ての資質と実践力を培うとともに、学級生同士が気軽に情報共有や相談し合える仲間づくりを推進します。

コロナ禍以降、受講生が減少しており、各学校の運営委員の担い手の確保や受講生の増加を図るため、事業内容の充実や周知の強化に努めます。

基本方針2 学校教育環境を充実させる

充実した教材教具の整備

○学習環境ICT(※1)整備事業(実施計画)

児童生徒の興味・関心を高めるため、大型提示装置(※2)の利活用を推進していきます。

児童生徒がタブレット端末を使って自分の考えをまとめ、クラスメイトとリアルタイムで考えが共有できる学習支援ソフトや児童生徒一人一人の理解度に合わせた学習が可能なデジタルドリルを活用するなど、デジタルコンテンツの活用を定着させます。

冊子などにより、ICT活用の好実践事例の共有を継続し、教員のICT活用指導力の向上を図っていきます。

○小中学校教育管理事務事業

児童生徒が効果的な学習を行えるよう、学校で使用する教材・備品・消耗品などの購入を適宜進め、教育環境の充実を図ります。

○ふるさと創生学校じまん事業

「心の教育」及び本市の文化遺産をいかした「ふるさと学習」の充実を図るとともに、将来にわたり本市で教育を受けたことを誇りに思えるような教育活動を行います。

○子どもの見守りシステム整備事業

地域で行っている見守り活動をデジタル技術で補完し、アプリを登録することにより容易に見守り活動に参加できる環境を整備するとともに、見守り意識の醸成と安全で安心な登下校環境を整備していきます。

保健衛生・給食・就学援助の充実

○就学援助費支給事業

市立小中学校への就学に際し、経済的な理由があり学校で必要な費用の支払に困っている保護者に一定の支援を行います。

就学援助対象者のうち、小中学校入学時の保護者の経済的負担を軽減するため、新入学用品費を入学前に支給します。

○中学校ランチ給食サービス事業(実施計画)

ランチ給食サービスにて「生徒考案メニュー」や郷土料理を取り入れ、県産野菜などを使用し、「食」の大切さへの理解を促し、食育や献立の充実にも努めます。また、アンケートなどの意見をもとにさらなる充実・改善に努めます。

電子注文の充実などにより利便性向上を図り、食数の増加に努めます。また、中学校入学予定の小学生やその保護者に、ランチ給食の試食会を実施し、ランチ給食の制度や内容などをアピールするとともに、安全で安心なランチ給食サービスを提供します。

○小中学校児童生徒定期健康診断業務

児童生徒の家庭における健康観察を踏まえ、家庭と連携しながら、学校における健康の保持増進を図るため、定期健康診断を実施します。

教育委員会と学校現場の円滑な運営

○教育委員会委員活動事業

定例教育委員会を開催し、必要な審議や報告を遅滞なく行います。

教育の現状と課題を把握し、教育行政へ反映させるため、教育委員による学校訪問を積極的に実施します。

○教育委員会運営事業

本計画の進行管理にあたって、各事業の実施状況を確認し点検評価を行い、その結果として成果や課題などをとりまとめ、報告書を作成します。

○働き方改革推進事業

教職員の勤務時間や勤務状況を把握し、適正な労働衛生環境の整備、教職員の業務改善を図ります。

スクールサポートスタッフを小中学校に配置し、教職員の負担軽減に努めます。

○小中学校教職員ストレスチェック実施事業

教職員自身のストレスへの気付きを促し、メンタルヘルス不調を未然に防止するため、ストレスチェックを実施します。また、教職員の心理的な負担の程度を把握し、検査結果を集団的に分析し、職場の環境改善に努めます。

検査結果に応じて、面接指導医(産業医・健康管理医)による面接指導を実施します。



見守り人アプリ



生徒考案メニュー



基本方針3 児童生徒に寄り添った支援を行う

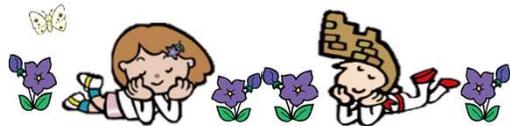
特別な支援が必要な子どもへの支援

○教育支援委員会事業

特別な支援が必要な児童生徒について、児童生徒・保護者の希望及びインクルーシブ教育(※3)の理念をふまえながら、専門的な知見を有する委員で構成した教育支援委員会と協議し、最もふさわしい学びの場を決定します。

○特別支援学級活動支援事業

それぞれの児童生徒に応じた支援及び指導を行い、また様々な経験の機会をつくることで、生活支援や学習支援の充実を図ります。あわせて、各校の特別支援学級数などに応じて特別支援教育支援員を配置することで、支援体制の充実をはかります。



いじめ対策と不登校支援の実施

○教育相談事業

教育サポートセンターで、悩みや不安を抱えた児童生徒やその保護者、学校、教職員からの相談に対して学校や関係機関と連携して支援を行います。

○いじめ防止・対策事業(実施計画)

教育サポートセンターに、スクールカウンセラー(※4)、スクールソーシャルワーカー(※5)、指導主事を配置して相談体制を強化することにより、いじめの未然防止・早期発見・早期対応を行い、児童生徒が安心して通える学校を目指します。

○不登校児童生徒のオンライン学習支援事業(実施計画)

教員免許を有する指導員を配置しオンラインを活用した学習を支援することにより、児童生徒の規則正しい生活習慣と学習習慣を身につけ、学校復帰または社会的自立を目指します。

基本方針5 スポーツ・芸術文化を通して豊かな生活を支援する

スポーツ・文化に触れる機会の創出

○総合型地域スポーツクラブ(※6)運営事業(実施計画)

こどものころからスポーツに触れ、自らが選択してスポーツができるよう、こどものスポーツ教室を開催します。また、教室参加後のスポーツの実施につながるよう、スポーツ少年団やスポーツ協会と連携を図り、取り組みを進めます。

○生涯スポーツ推進事業

「MADOKAれくスポ祭」の開催支援や「出前講座」の実施などを通して、軽・ニュースポーツの普及や推進に取り組めます。

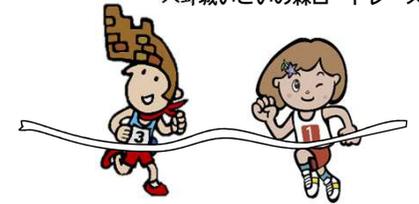
「誰でも」「いつでも」「どこでも」スポーツやレクリエーションに親しむことができるよう、地域の特性をいかしたコミュニティ単位による生涯スポーツを目指します。

○学校開放施設運営管理事業

全小中学校の運動場及び体育館などを、社会体育の普及や安全な遊び場の確保などを目的として、学校教育に支障のない範囲で地域に開放します。



大野城いこいの森ロードレース



基本方針4 こどもたちが健全に成長できる環境を整える

こどもの居場所づくり

○ランドセルクラブ運営事業(実施計画)

放課後の居場所を求める児童に、安全で安心な場所を提供し、様々な体験や人とのふれあいを通して、児童の健全育成や学習習慣の定着を図ります。

大人と子どもが共に過ごし、共に学び、共に育つ「共育」の理念のもと、家庭・学校・地域・行政が連携した体験活動などを通して、地域社会の活力の向上を目指します。

学校と地域の連携により、活動室の確保や安全な環境の維持改善を図ります。



大野小学校ランドセルクラブ
ゲートボール体験

用語の解説

- ※1 ICT
情報処理・情報通信分野の関連技術の総称。「Information and Communication Technology」の頭文字をとったもの。
- ※2 大型提示装置
プロジェクタやデジタルテレビ、電子黒板など、デジタル教材や児童生徒の意見や考えを大きく提示するための機器の総称。
- ※3 インクルーシブ教育
障がいのある子どもを含む多様な子どもたちが、様々な違いや課題を超えて、同じ場で一緒に学ぶ教育
- ※4 スクールカウンセラー
学校において、児童生徒の生活上の問題や悩みの相談に応じ、教員や保護者に指導助言を行う心理の専門家

- ※5 スクールソーシャルワーカー
学校において、生活上の困りごとを抱える児童生徒とその保護者に対し、家庭環境などに働きかけを行う福祉の専門家
- ※6 総合型地域スポーツクラブ
誰もが身近な場所で気軽にスポーツができるきっかけとなるよう、様々な教室を開催している団体
- ※7 屋内運動場
「屋内運動場」とは「体育館」のことであり、一般的に文部科学省の補助事業で使用している名称



基本方針6 安全で安心な教育関連施設の管理運営を行う

教育施設や設備の充実

○小中学校トイレ洋式化事業(実施計画)

児童生徒がより利用しやすいトイレを整備するために、校舎及び屋内運動場トイレの洋式化整備を実施します。

○学校屋内運動場(※7)改修事業(実施計画)

中学校屋内運動場に被災時の機能強化及び通常利用時の熱中症対策などの環境改善のため、空調機を整備します。(中学校5校)

個別施設計画に基づき、環境改善と施設の長寿命化のため、屋内運動場の改修工事を実施します。(大野中学校・大野東中学校)



屋内運動場空調整備



定期点検

大野城市の小学校・中学校

大野城市内の小学校や中学校を紹介します。

- ◆…各学校の教育目標
- ★…各学校のアピール・ポイント

を記載しています。

※児童生徒数・学級数…令和7年5月1日現在

大野小学校

児童1006人、41学級

- ◆社会力を身につけた、自尊感情の高い子どもの育成

★道徳的価値を自分事として捉える道徳科学習指導を推進しています。

★「せんだんの集い」(創立記念のお祝い会)
大野小学校児童の素質を磨き、大きな心を持った人間に育つことを願った学校のシンボルである「せんだんの木」を地域の方と囲み、集会をおこなっています。

★委員会活動でペットボトルキャップを集めて寄贈するなど地域貢献活動に取り組んでいます。



■「ペットボトルキャップ解体式」
大野小学校ボランティア委員会児童が、西日本シティ銀行白木原支店で開催されたペットボトルキャップアート解体式に参加しました。解体したペットボトルはお米にかわり、子ども食堂に寄付されます。

大野中学校

生徒519人、17学級

- ◆「志を持ち、未来を切り拓くことができる生徒育成」

★「問い」をつなぎ、協働的な学びを促す授業づくりを通して、自ら考え、学びを深めることができる生徒の育成に取り組んでいます。

★「ぐんぐんシート」自分ログ「デジタルドリル」を活用して家庭学習の充実を図り、自ら学び続ける生徒の育成に取り組んでいます。

★挑戦して失敗しても誰からも責められないことがない安全な環境、「心理的安全性」が高い集団づくりに取り組んでいます。



■「志タイム」代表者の発表
総合的な学習の時間に「STEAM」の学びの視点から「探究」の学習を実施する授業「志タイム」を行っています。自らの興味・関心に応じてテーマを設定し、調査研究を行い、まとめた発表の活動を行っています。文化発表会で各学年の代表者に選出されて、研究発表することを旨として学習を行っています。

下大利小学校

児童194人、10学級

- ◆地域に主体的にかかわる子どもの育成

★重点目標
「わくわくする心もち、失敗を恐れずチャレンジする子ども」
キャッチフレーズ
～わくわく登校 笑顔で下校～

★自分で決めた目標に取り組む「下大利チャレンジ」の充実

★「大利の日」あいさつ運動や「いじめをなくそう子どもサミット」の取組

★生活科、総合的な学習の時間を中心に、GTの方をお招きして、地域に主体的にかかわる子どもを育てる授業づくりに取り組んでいます。



■「縦割り班でなかよしタイム」
毎週水曜日の昼休みは、1～6年生縦割り班のグループで、一緒に遊びます。グループ遊びを決め、異学年との交流を深めています。7月には縦割りグループで「七夕集会」2月には「6年生へのプレゼント作り」を行います。

大城小学校

児童465人、20学級

- ◆よりよく生きようとする子どもの育成
～自分らしく学ぶ・考えてかかわる・よい行いをする・自分をふり返る～

★「四王寺山学習」6か年カリキュラムの実施
1年生 生活 四王寺山の「秋見つけ」
2年生 生活 四王寺山の「生物」
3年生 総合 四王寺山の「自然」
4年生 総合 四王寺山の「環境」
5年生 総合 四王寺山の「歴史探訪」
6年生 総合 大野城の「歴史」



■大野城市の「歴史」
どの学年においても、四王寺山と関わる活動を行います。他教科と関連して行うことで、四王寺山への愛着を深めています。

大城の自然とのふれあいを通して良さに気づき、地域の方と共有することでふるさとへの愛着を深めています。

大野北小学校

児童681人、29学級

- ◆地域を愛し、夢を語る事ができる子どもの育成

★本年度の重点
笑顔・あいさつ・思いやりがあふれる楽しい学校
・「ここに・はきはき・ふわふわ」を合言葉に、誰もが安心して過ごせる学校を目指しています。

地域にかかわる子どもの育成
・校区の5つの地区(山田、上筒井、下筒井、栄町、雑餓隈町)の人材を活用した学習
・各公民館の「北っ子キャラリー」への出展、夏祭り等の行事への参加・参画



■「北小ビオトープ」
創立50周年を記念して設置されたビオトープは、水を循環させるために水車も併設されています。メダカやアメンボなど多様な生き物たちが暮らすビオトープは、ひょうたんクラブ主体で行う年2回の清掃活動で現在も美しく保たれており、憩いの空間となっています。

大利小学校

児童1061人、40学級

- ◆郷土を愛し、豊かな心で自ら実践する子どもの育成

★本年度の重点
ウエルビーイングを伝播するための雰囲気づくり
・「さりカード」を使って児童、家庭、地域が感謝を伝え合っています。

★学校の特徴
・「OBCいじめをなくそう子どもサミット」
・校区(上大利、中大利、下大利)ボランティアとの共同学習
・保護者ボランティア「大利っ子先生」
・「水泳見守り」他
・PTAボランティア制



■「OBCいじめをなくそう子どもサミット」に向けて
大利中生徒会の説明を聞いて大利小では「いじめをなくそう取組」を各クラスで話し合いました。9月の大利小、下大利小、大利中の3校合同サミットでは、連携して話し合い、実践していきます。

大野東中学校

生徒732人、24学級

- ◆「自律貢献～志と小さなやかな心もち、地域・社会に貢献できる生徒の育成～」

★学力・体力の向上
・「AIドリル」を活用した朝学習の実施
・「DAITOコーディネーショントレーニング」の実施

★社会性の向上
・「立志礼」の実施
・「ブライド清掃」の実施

★未来志向力の向上
・「夢講座」の実施
・「にげんげん」の実施



■「夢講座」
著名人を迎え、経験や思いなどを、人生の先輩として生徒たちに語ってもらうことにより、生徒たちが未来へ向けて志や展望をもつことを願い、実施しています。

御陵中学校

生徒340人、12学級

- ◆挑戦(チャレンジ)
～自分を磨き、仲間や地域・社会と繋がり、成長していく生徒の育成～

★生徒の主体的な取組の推進

★しつけの三か条の推進

①いつでも自然にあいさつができる
②ハイと返事ができる
③崩れた履物をそろえる
席を立ったら、椅子を納めることができる



■令和7年度体育祭
生徒提案種目「人の輪リレー」この取組の実行委員を募集し、種目の企画・準備・運営を生徒が中心となって行いました。

月の浦小学校

児童452人、19学級

- ◆今も未来もあしあわせな子供の育成

★学び合い・支え合い・高め合い
「学び合い」…「分からない」「教えて」が言える子ども
「支え合い」…友達の多様性を認め、互いの良さを伝え合う子ども
「高め合い」…元気を挨拶や安全な生活と運動や外遊びをする子ども

★毎年6月に「いじめ防止集会」

★算数科学習を中心に、主体的に学ぶ授業づくりに取り組んでいます。
JRCに加盟し、気付き考え行動する力を高める学習や活動に取り組んでいます。



■「いじめ防止集会」
今年のスローガンは「全員で気付き助け合おう。いじめのおかしさやいじめをなくすことの大切さについて考え、一人一人いじめ防止宣言を書きました。」

平野小学校

児童555人、25学級

- ◆志をもち挑戦し、地域とともに未来へ伸びゆく子どもの育成

★平野小学校の文化を大切に、新たな文化をつくる子どもを育成しています。
★夢や目標に向かって友だちとともに挑戦する姿を目指しています。

★三つの宝「あいさつ」「立腹」「もくもく掃除」を合言葉に行動しています。

★国語科学習を中心に、主体的に学ぶ授業づくりに取り組んでいます。



■第6学年総合的な学習の時間「夢探検」
キャリア教育の一環として、6年生児童を対象に、様々な職業の方を招いてお話を聞きます。子どもたちの将来の夢を模索する貴重な体験です。

大野東小学校

児童796人、33学級

- ◆地域や人のために、気づき、考え、実行する子どもの育成

★本年度の重点目標
「自己の伸びを自覚する子どもの育成」

★目ざす児童像
・ひとにやさしい東っ子(豊かな心)
・がんばり続ける東っ子(たくましい体)
・しっかり学ぶ東っ子(確かな学力)

★学校運営協議会
目ざす子ども像を共有し、学校、家庭、地域で連携・協力して子育てを進めていきます！！



■「人にやさしい東っ子週間」
地域の方が休み時間や掃除時間に来てくださり、正しい廊下歩行ができる、気持ちのよい挨拶ができる、黙々掃除ができる子どもに「頑張ってるねカード」を手渡してくださいます。明るい笑顔や挨拶があふれる週間です。

御笠の森小学校

児童381人、17学級

- ◆未来を生き貴く、心身ともに健康で創造性豊かな子どもの育成



★本年度の重点目標
文武両道！主体的に動いて、学ぶ子ども

★健康教育を学校の教育活動の中心に位置付けています。朝の「さわやかタイム」では、裸足でジョギングをしたり、ボール体操、ラジオ体操をしたりしながら、健康づくりに動んでいます。



■「さわやかタイム」
月・水・金曜日は「ジョギング」、火曜日は「ボール体操」、雨の日は「ラジオ体操」に取り組んでいます。御笠の森小学校の一日はこの「さわやかタイム」と共に始まり、学校の伝統にもなっています。

大野南小学校

児童793人、31学級

- ◆他のおよさを認め合い、考え実践する子どもの育成

★本年度、特に力を入れていること
「み・な・み」の合言葉でめざす具体的な児童像
「み」みつけよう…よさを見つける、課題をみつける
「な」なとげよう…最後まで、あきらめず、粘り強く
「み」みんなとともに…学び合い、助け合い、認め合い

★「単元自由進度学習」の取組
「自学が子ども」の育成
・学びを調整する力の育成
・必要に応じて個人・グループで学ぶ



■6年:国語科「聞いて考えを深めよう」
地域の方に「南小のよさ」についてインタビューを行い、班でまとめた内容をもとに考えたことを全校に伝えました。

平野中学校

生徒969人、34学級

- ◆志をもって学び、自律心と豊かな人間性を身につけ、地域・社会に貢献できる生徒の育成
【重点目標】「立志・学ぶ意欲」「自律・規範意識」「貢献・自尊感情」

★本年度、特に力を入れていること
・各学期で凡事徹底に特化し、浸透と徹底
⇒「自己指導力」「非認知能力」の育成

★学校の伝統的な行事や校内研究等
・CVTプロジェクトの推進:CVT学習の実践
⇒「キャリア・Vボランティア」「トドジャー」
・1年:知る・2年:創る・3年:導く 体育祭
⇒「知る・2年:創る・3年:導く」の授業
⇒「CVT」(平野中ブロックコミュニティ)共有構想



■1年:知る・2年:創る・3年:導く「体育祭」
「全笑汗祭～1人1人が輝き最高の感動を～」をスローガンに全員が一生涯懸命に取り組んだ体育祭。閉会式で全校生徒で肩を組み、声を張り上げて校歌を歌う姿が一生懸命な姿が溢れ、全員で表現する姿です。